

## 地域のたからものを再発見し、保存、継承していくために ～とやま未来遺産シンポジウムを開催～



松波理事長 挨拶



齊藤局長 挨拶



政所利子氏の基調講演

富山県内のケーブルテレビ事業者は、平成22年度から統一テーマ「とやま未来遺産」の映像を制作・放送することにより富山の自然文化継承と地域活性化に取り組んでいます。平成25年5月28日、一般社団法人富山県ケーブルテレビ協議会と北陸総合通信局、NHK富山放送局が共催し「ふるさと富山」の魅力発見と後世に残すべき「地域のたからもの」をテーマに「とやま未来遺産シンポジウム」を開催しました。

シンポジウム開催に先立ち、富山県ケーブルテレビ協議会松波理事長、北陸総合通信局齊藤局長が主催者挨拶し、齊藤局長は「富山県のケーブルテレビ事業者さんが一緒になり、とやま未来遺産のプロジェクトをプロデュースされたことは大変素晴らしい。まさに地域とともに生きていくケーブルテレビの果たすべき役割と発展の方向性を示すものであり、全国のケーブルテレビ関係者のモデルになる取組であると思う。」と挨拶しました。

続いて地域ブランドの開発や研究をされている政所利子氏による、未来に継承する「地域のたからもの」についての基調講演の後、パネルディスカッションが行われました。

パネリストからは、「まち歩き観光開発のキーポイントは、住民と一体となった観光、もてなしの心、しつらえの心である。」、「少子高齢化の中で、祭りを継承する担い手の育成、曳山の修繕などに関する行政の理解と連携が重要」、「伝統文化を通して、地域の歴史を知り、多世代と交流し、故郷を思う気持ちが醸成される。」、「ケーブルテレビが地域の宝物、文化財的なものを映像化していくことは非常に重要。とやま未来遺産には有形、無形あるが、今後、携わっている人にもフォーカスを当てていきたい。」、「地域密着で地域の情報発信を担うケーブルテレビの役割は大きい。地域活性化の取組に今後とも期待する。」などの発言が出されました。



伊藤 源太氏  
コーディネーター

政所 利子氏  
アドバイザー

矢野 潤氏  
パネリスト

アドバイザーの政所氏からは、「地域の課題を自立の視点で変え、地域資源を活かして交流産業力の向上を図ることが重要である。」「地域イズムを発揮させた“地域力＝交流産業連携”の基本ポイントは、地域ぐるみ、親切、情報などそれぞれの街の色々のおもてなしである。」とのアドバイスがありました。

最後に、ケーブルテレビ事業者が平成22年度から制作・放送を行ってきた「とやま未来遺産」を納めたDVDの目録が松波理事長から富山県教育委員会石出参事に贈呈され、シンポジウムを終了しました。

当日、会場の模様はUstreamにより中継され、本シンポジウムを広くアピールしました。また、富山県内の各ケーブルテレビ局では今回の基調講演、シンポジウムの模様を6月下旬以降放送する予定です。



米屋 清美氏  
パネリスト

金厚 有豊氏  
パネリスト

山崎 友紀恵氏  
パネリスト



松波理事長から石出参事へDVDを贈呈

問い合わせ先： 情報通信部放送課 076-233-4490